

事業番号	08 04 29	事業改善シート (25年度実施事業分)		■ 予算要求	□ 予算案	□ 点検
事業名	きのこ家畜を育てるソルガムプロジェクト推進事業			担当課	部局	農政部
					課・室	園芸畜産課
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 ◆ 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			実施期間	H22 ~ H27

1 事業の概要

目指す姿	<p>○きのこ培地として利用するソルガム栽培を推進するために、栽培方法と運搬、調製方法の実証検討を進める。</p> <p>○ソルガム培地によるきのこ栽培の実用化を図るため、連続栽培と培地の回収方法の検討を進める。</p> <p>○ソルガム培地飼料の実用化と畜産農家の飼料コスト低減を図るために、安全性を確認しながら家畜への給与実証を進める。</p> <p>○ソルガム栽培からきのこ農家、畜産農家への一連の流れを構築することで、ソルガムを核とした地域資源循環型農業の構築を図る。</p>	
現状	<p>○3年経過して、ソルガム栽培は品種選定ができ収穫時期に合わせた栽培体系ができつつある。</p> <p>○ソルガム培地原料の製造コストをさらに低下させ、収穫時期をずらして乾燥機の能力限界を考慮した長期間収穫する体系が必要。</p> <p>○ソルガム培地でのきのこ栽培は、慣行と同程度の収量を確保できるようになった。</p> <p>○培地の回収は密閉トランスパック等で回収し、乾燥させた後混合飼料とすることで嗜好性は低下せず飼料化できた。</p>	
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他( )	【左記の説明、根拠法令等】 市町村やJAを超えた連携が必要であり、各段階においていくつかのリスクがあり、それを低下させるための試験研究を進めながら、実用化に向けた実証を進める技術力や連携が必要である

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H25)					
	<p>○ソルガム栽培の定着化1ha以上と乾燥粉碎の低コスト化</p> <p>○きのこ農家での長期栽培の実証(連続16釜)と使用済み培地の効率的密閉回収</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25実施内容	H24 (当初)	H25 (要求)	H25 (予算案)
	○プロジェクトの推進	直接	○ソルガムプロジェクト推進会議の開催	185	0	
	○ソルガム栽培と運搬調製 ○ソルガム培地によるきのこ栽培 ○ソルガム混合発酵飼料調製 ○牛への給与試験		○ソルガムの栽培 1ha以上 ○ソルガムきのこ培地の調整と栽培実証 ○培地の密閉回収と発酵飼料の調製 ○牛への給与実証	815	925	
	合計				1,000	925

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案
	前年度繰越					
	当初予算	1,000	1,000	1,000	925	
	補正予算	0	0	0		
	合計(A)	1,000	1,000	1,000	925	0
	国庫支出金					
	県債					
	その他(繰入金)	1,000	1,000	1,000	925	
	一般財源	0	0	0	0	0
	決算額(B)	1,000	907			
概算職員数(人)	0.29	0.29	0.29	0.31		
概算人件費	2,412	2,395	2,395	2,560	0	
概算事業費(B(A)+C)	3,412	3,302	3,395	3,485	0	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
ソルガムの栽培面積	1ha	1ha以上			
きのこ栽培拡大	連続4釜	連続16釜			

要求からの主な変更点	
------------	--